



広報

平成30年5月1日発行

たちばな

第31号

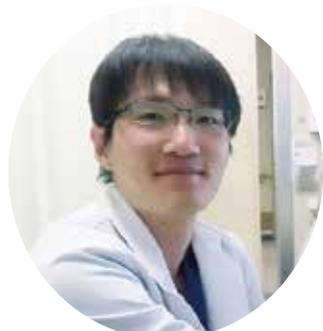
(財)日本医療機能評価機構認定病院

橘病院

整形外科専門病院

TACHIBANA HOSPITAL

<http://www.tachibana-hospital.jp>



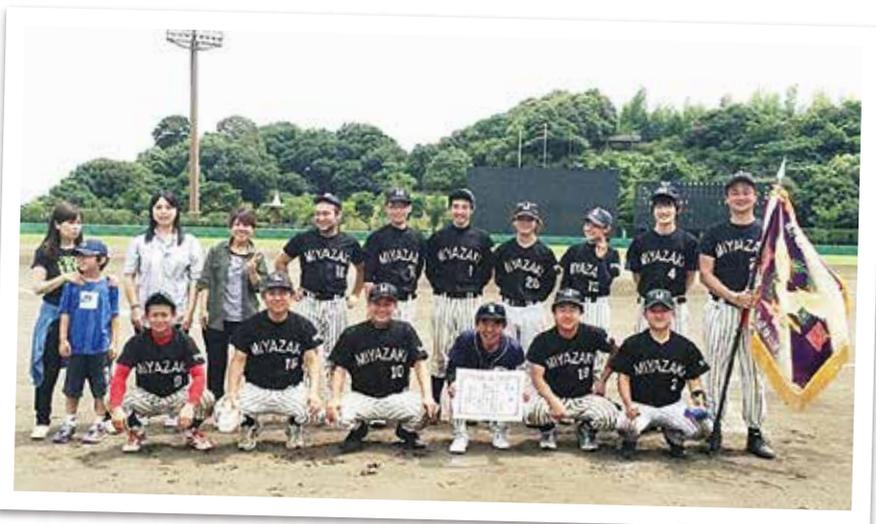
皆さん、初めまして。2017年10月から赴任いたしました川越 秀一と申します。主な経歴としましては、鹿児島大学医学部卒業後、宮崎県立宮崎病院で2年間の研修医期間を過ごし、2016年4月に宮崎大学医学部付属病院整形外科に入局いたしました。今年から、医師としては5年目、整形外科医としては3年目となります。ここへ来て半年経ちましたが、整形外科医としてまだまだ未熟であり、日々スタッフの方々に支えられながらなんとか仕事をこなしている状態です。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、簡単ではございますが自己紹介させていただきます。鹿児島県出身で、父が鹿児島大学卒の整形外科医であることから、幼少期は父の移動に合わせ鹿児島市はじめ小林、鹿屋、奄美大島など転々としておりました。父が開業するタイミングで宮崎県日南市油津へ移動し、そこで小学生時代を過ごしました。もともと父方が日南市飫肥出身で、祖母も日南に在住している関係もあり、年末や盆などよく日南へ帰省しております。中学、高校は鹿児島県私立志学館高校で過ごし、野球部に所属しておりました。野球は好きで、現在も整形外科医局の野球部に所属しております。なんと、今年は毎年開催される整形外科野球大会で九州予選2位(1位は熊本大学)で、本戦への切符を掴んでおります。高校2年ごろから本格的に医師を目指すようになり、1年の浪人期間を経て、鹿児島大学医学部に入学いたしました。研修医の2年間で特に面白いと感じたのは整形外科、小児科でした。結果、整形外科医となりましたが、整形外科の領域は子供から高齢者まで幅広く、非常にやりがいを感じております。

宮崎大学整形外科に入局してから現在まで、様々な症例を経験させていただいておりますが、これからは外来診療、手術と経験を積み、まずは専門医取得を目指し頑張ろうと思います。そして、行く行くは柏木先生や花堂先生のようなspecialityを持ち、都城はじめ宮崎の医療に貢献できればと思います。

最後に、妻と2歳の娘と都城に住み始め、都城の人たちが快活で温かく、食べ物も美味しく、とても住みやすい町であることを実感しております。

皆様方には、都城の先輩としてこれからもいろいろアドバイスいただければ幸いです。その分、しっかりと恩返ししたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



研修医時代(上段右から2番目)





